

ドコモを知るキーワード

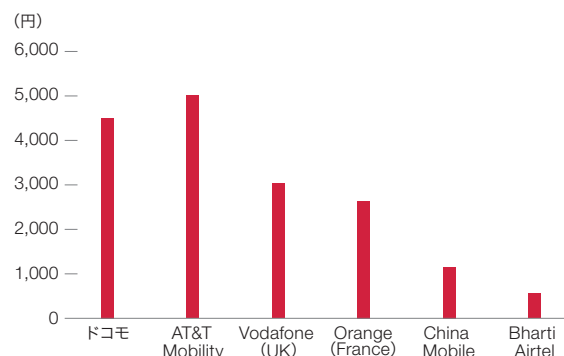
契約数×ARPU

モバイル通信事業の最も基本的な収益は、お客様との回線契約数と1回線当たりの利用料金の乗数によって求められます。このうち、1回線当たりの利用料金は、月間平均収入（英語のAverage monthly Revenue Per Unitを略してARPUと呼ばれます）で表されます。

ARPUはモバイル機器での音声通話からもたらされる音声ARPUと、モバイル機器でのデータ通信からもたらされるパケットARPUからなります。日本市場では、他国市場に比較してARPUが高いという特徴があります。

更に、新領域事業からの収入を定量的に表す指標として、当社では主にdマーケットなどから創出される収入に応じたスマートARPUを導入しています。

主要各社のARPU比較



出典：各社発表をもとに当社が算出（2013年12月末時点の為替レートを適用）

スマートライフ

ドコモは現在、「スマートライフのパートナーへ」という目標を掲げています。ここでいうスマートライフとは、モバイル技術の応用による新しいライフスタイルを意味します。

モバイル通信事業者として、ストレスなく安心してモバイル機器が使える通信環境を整備することは基本的な使命です。そこに加えて当社は、モバイル技術を使うことで、安心・安全な環境で、一人ひとりが自分自身の嗜好に合った楽しみや喜びを見いだせる、より便利で充実した暮らしのサポートをします。お客様の生活に寄り添い、先回りして提案するコンシェルジュのような役割をドコモが担います。



新領域事業

当社は、モバイル通信事業との親和性が高い右の8分野を新領域と呼び、新領域事業から2015年度に1兆円の収入をあげること为目标としています。現在は、スマートライフを実現するためのサービスラインナップの拡充に取り組んでいます。

新領域事業の具体的な成果として、モバイル機器向け各種サービスの普及が進んでいます。例えばdマーケットは、月額課金契約数が2014年3月時点で769万に達しており、収益に貢献しています。また、子会社を通じて提供しているコマースやヘルスケアなどのサービスも順調に伸長しています。こうした新領域事業の拡大は、その利用を通じてスマートARPUの拡大とパケットARPUにもプラスの影響を及ぼします。

-  コマース
-  メディア・コンテンツ
-  金融・決済
-  M2M
-  アグリゲーション・プラットフォーム
-  環境・エコロジー
-  安心・安全・学習
-  メディカル・ヘルスケア